

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは？

このチュートリアルは、ACDSee Pro 2 のパワフルな [一括処理] 機能を使って、ワークフローをスピードアップする方法について解説します。

## 2 著作権情報を挿入する

[一括処理] 機能は、複数のプロセスを複数の画像に、まとめて適用することを目的としてデザインされています。

## 3 画像のサイズを変更する

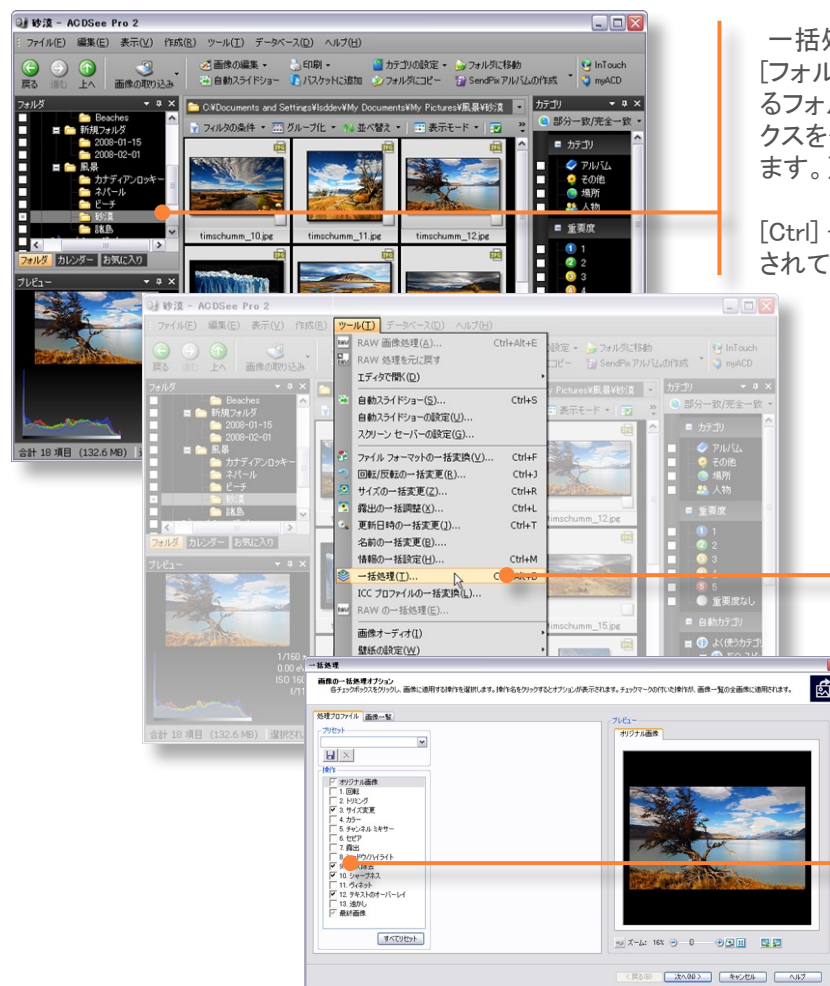
例えば、Web 用に画像の下準備をする場合、ノイズ除去、シャープネスの調整、著作権情報の適用、サイズ変更などを行ってから、新しいフォルダに別のファイルフォーマットで保存する、というような作業が考えられます。[一括処理] 機能では、これらを含むさまざまな作業を、複数の画像に、同時に適用することができます。

## 4 ノイズ除去とシャープネス

## 5 その他の操作を使用する

## 6 出力オプションを選択する

## 7 まとめ



一括処理を使用するには：  
[フォルダ] ペインを使用して、画像を含んでいるフォルダを探します。(イージーセレクトボックスをクリックすると複数のフォルダを選択できます。)

[Ctrl] + [A] キーを押して、ファイル一覧に表示されている画像をすべて選択します。

[ツール] メニューから [一括処理] をクリックするか、ショートカットキーの [Ctrl] + [Alt] + [B] キーを押して [一括処理] を開きます。

[操作] の各項目の横にあるチェックボックスをクリックして、希望する操作を選択します。選択後、各操作に戻って設定を細かく指定することができます。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは？

## 2 著作権情報を挿入する

## 3 画像のサイズを変更する

## 4 ノイズ除去とシャープネス

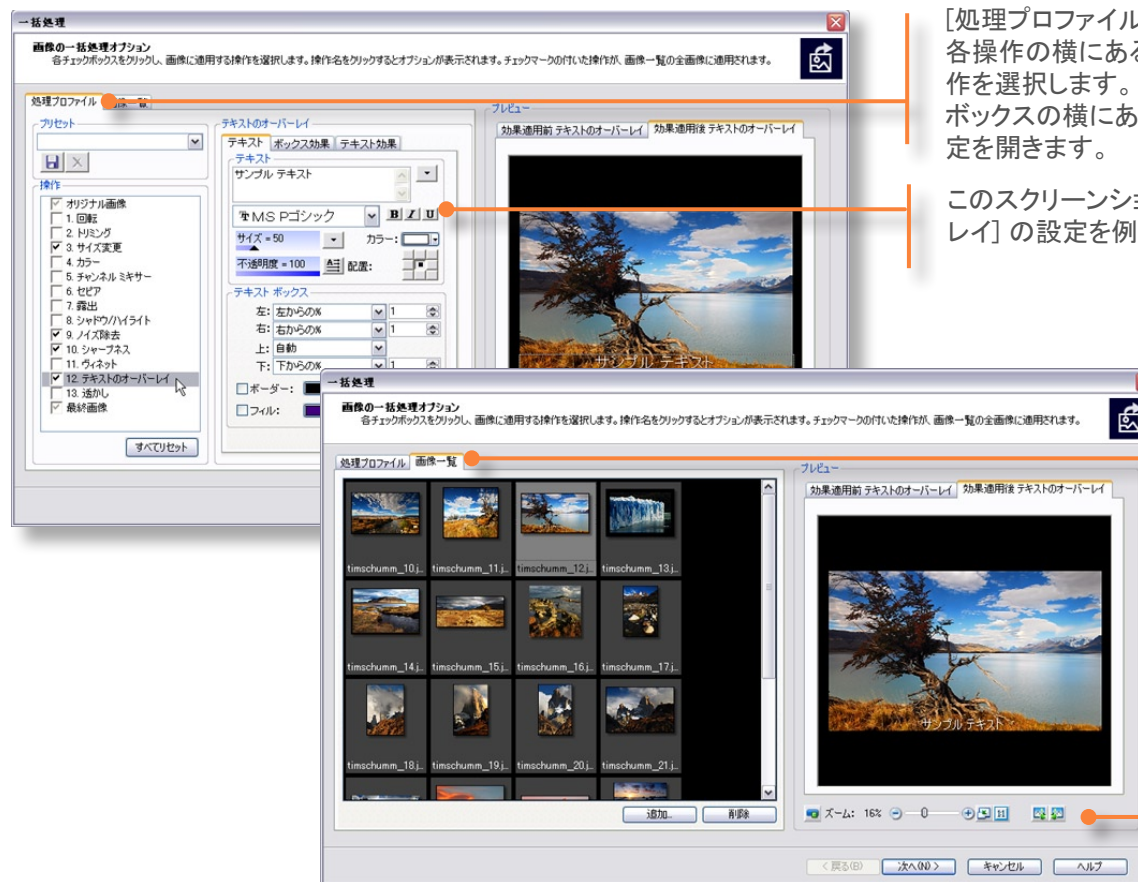
## 5 その他の操作を使用する

## 6 出力オプションを選択する

## 7 まとめ

[一括処理]には2つのタブが用意されています：

- ・ [処理プロファイル] タブでは、画像に適用する操作を選択し、各操作の設定を細かく指定することができます。実際の操作は、このタブに表示されている順番で適用されます。
- ・ [画像一覧] タブでは、希望する画像を選択してプレビュー表示したり、画像を追加または削除したりすることができます。[プレビュー] セクションにある [効果適用前] と [効果適用後] のタブで、各画像のプレビューを確認することができます。



[処理プロファイル] タブ  
各操作の横にあるボックスをクリックして、その操作を選択します。  
ボックスの横にあるテキストをクリックして、その設定を開きます。

このスクリーンショットは、[テキストのオーバーレイ] の設定を例として表示しています。

[画像一覧] タブ  
[追加] または [削除] をクリックして、処理する画像の一覧を設定し直します。  
画像をクリックして確認します。

クリックして [効果適用前] と [効果適用後] タブを反転表示します。スライダーをドラッグして、拡大または縮小表示します。

クリックして別の画像を表示します

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは?

各操作の設定を表示するには、チェックボックスの横にあるテキストをクリックする必要があります。下の例は、[テキストのオーバーレイ] 操作を使って、撮影者の名前を挿入する手順を解説しています。

## 2 著作権情報を挿入する

## 3 画像のサイズを変更する

## 4 ノイズ除去とシャープネス

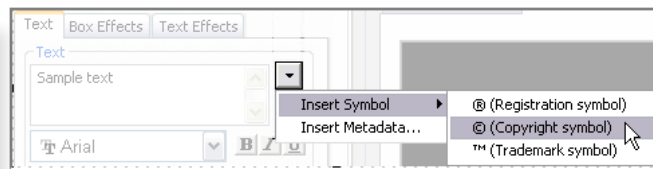
## 5 その他の操作を使用する

## 6 出力オプションを選択する

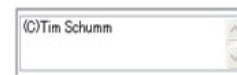
## 7 まとめ

初めに、[テキストのオーバーレイ] のテキスト上をクリックし、[テキストのオーバーレイ] 設定を表示します。

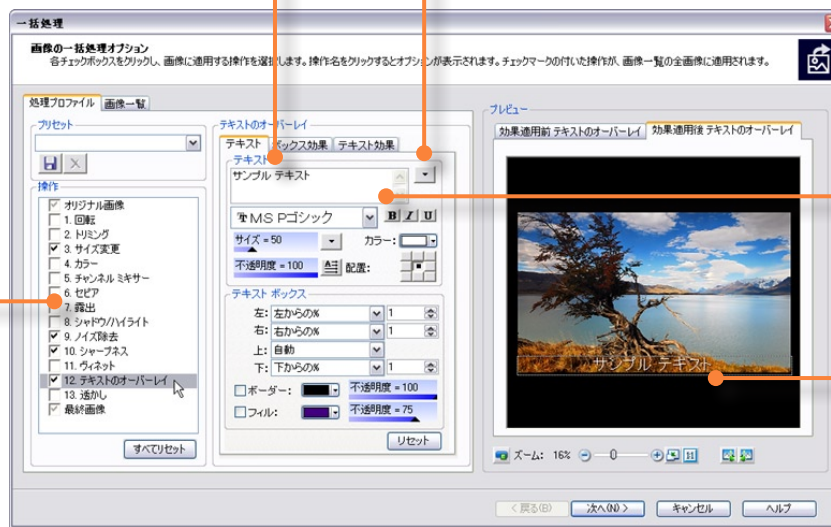
テキストを挿入する前に、サンプルテキストを削除します。



著作権記号を挿入するには、ドロップダウン矢印をクリックし、[Insert Symbol] から [Copyright symbol] を選択します。  
注意:この記号挿入機能は、日本語版ではサポートされていません。予めご了承ください。



[テキスト] ボックスに、希望するテキストを入力します。著作権記号が必要な場合は、(C)と入力します。



[プレビュー] の画像上に、ボックスで囲まれたテキストが表示されるのを確認してください。  
テキストをクリックし、端をドラッグしてサイズ変更したり、別の場所に移動したりします。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは？

次の例は、画像サイズの変更方法を解説しています。

## 2 著作権情報を挿入する

## 3 画像のサイズを変更する

## 4 ノイズ除去とシャープネス

## 5 その他の操作を使用する

## 6 出力オプションを選択する

## 7 まとめ

まず、[サイズ変更] のテキスト上をクリックし、[サイズ変更] 設定を表示します。



Web 用にサイズ変更する場合、[サイズの変更方法] ドロップダウンから、[ピクセルの寸法] を選択します。

希望するピクセルサイズをクリックして入力します。

新しいサイズに変更するためのオプションが表示されます。サイズ変更する際、オリジナルの縦横比を保持するのがベストです。オリジナルの縦横比を保持すると、元の画像の比率は変更されません。この方法では、幅あるいは高さのいずれかを入力するだけで、ACDSee Pro 2 がオリジナルの比率を割り出して、もう一方の値を自動的に変更します。

各画像への効果を確認するには、[次の画像] と [前の画像] ボタンをクリックします。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは？

デジタル写真からノイズ除去し、シャープネスを適用すると、よりよい写真に仕上がります。このような退屈な操作も「一括処理」を使えばあっという間に完了します。

## 2 著作権情報を挿入する

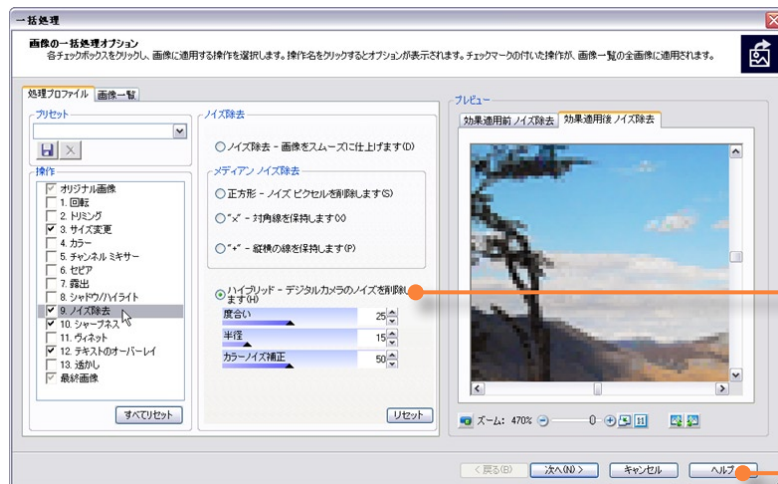
## 3 画像のサイズを変更する

## 4 ノイズ除去とシャープネス

## 5 その他の操作を使用する

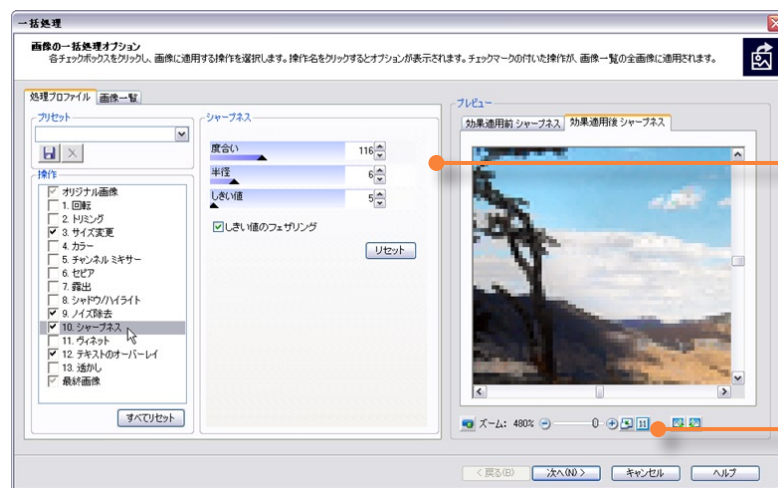
## 6 出力オプションを選択する

## 7 まとめ



[ハイブリッド] オプションは、縦横および対角線を保持したままノイズを除去します。

[度合い]、[半径]、[カラーノイズ補正]に関する詳細につきましては、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。



[度合い] の値が高いほど、エッジが濃くなります。[半径] の値が高いほど、シャープネスに含まれるピクセル数が多くなります。[しきい値] の値が高いほど、シャープネスを適用する前に、画像の明暗ピクセル間に必要な差が大きくなります。

[ノイズ除去] と [シャープネス] にいずれの操作においても、[ズーム] スライダを右にドラッグして、各ピクセルでどのように変化するかを確認しながら操作します。



クリックして [効果適用前] と [効果適用後] タブを反転表示し、設定を微調整します。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 一括処理とは？

今回、このチュートリアルでは解説しませんが、[一括処理]に含まれているその他の便利なツールを簡単に見てみましょう。

## 著作権情報を挿入する

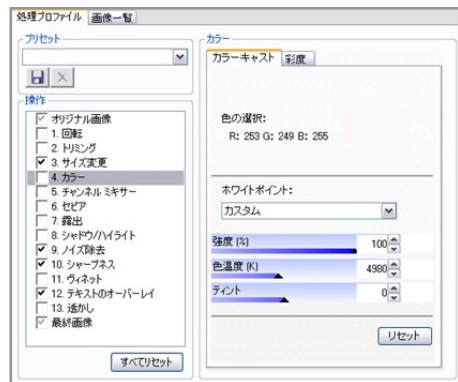
## 画像のサイズを変更する

## ノイズ除去とシャープネス

## その他の操作を使用する

## 出力オプションを選択する

## まとめ



[カラー] 操作には、カラーキャストの削除と、彩度を向上するための設定が含まれています。

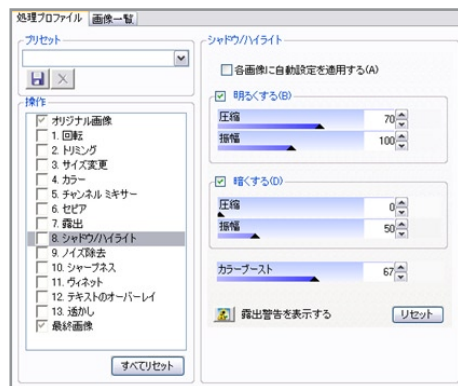


[チャンネル ミキサー] 操作には、リッチなモノクロ画像を作成するための設定が含まれています。各カラーの値を変更すると、ムードやトーンを調整することができます。



[セピア] 操作は、すべての画像をセピアトーンに変更します。

[シャドウ/ハイライト] 操作は、暗すぎる領域を明るく、同時に明るすぎる領域暗くします。



[露出] 操作には 4 つのタブが備えられており、露出、レベル、カーブをパーフェクトに調整することができます。



[ヴィネット] 操作は、特定領域をハイライトする枠を追加します。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは?

設定が完了したら、[次へ] をクリックして [出力オプション] ページを開きます。

## 2 著作権情報を挿入する

[出力オプション] ページで、編集後の画像の保存先を選択します。ファイルの名前を変更したり、ファイル フォーマットを変更したりすることも可能です。

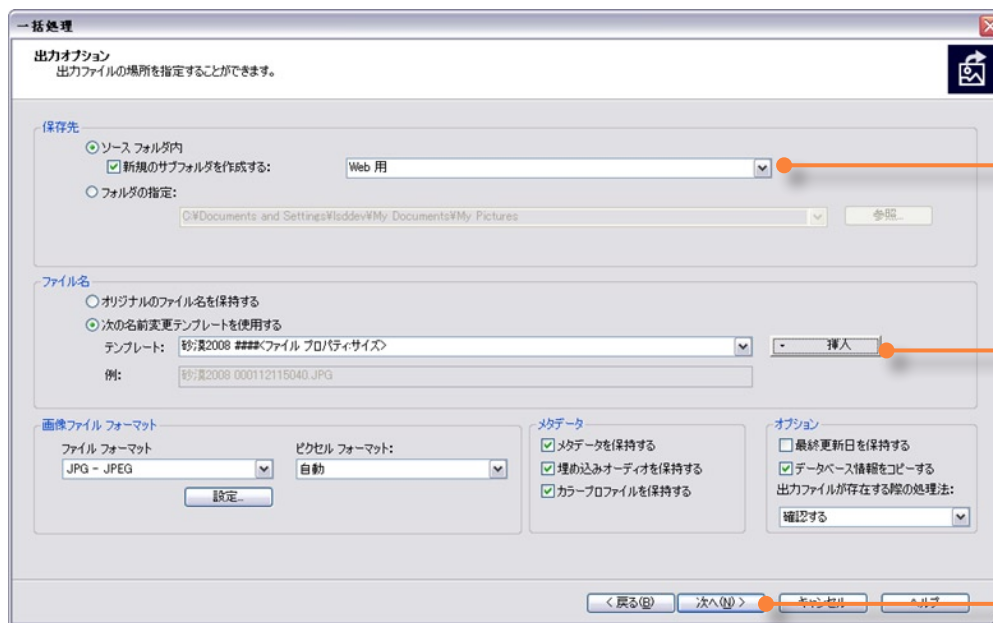
## 3 画像のサイズを変更する

## 4 ノイズ除去とシャープネス

## 5 その他の操作を使用する

## 6 出力オプションを選択する

## 7 まとめ



編集後の画像は、新規フォルダに保存することをお勧めします。サブフォルダを作成します。[新規のサブフォルダを作成する] をクリックし、[Web 用] と入力します。

Web 用にサイズ変更したことがわかるように画像の名前を変更します。こうしておく、名前をただでオリジナルサイズと違うことがわかるので、大変便利です。

準備が完了したら、[次へ] をクリックします。

# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは？

### 2 著作権情報を挿入する

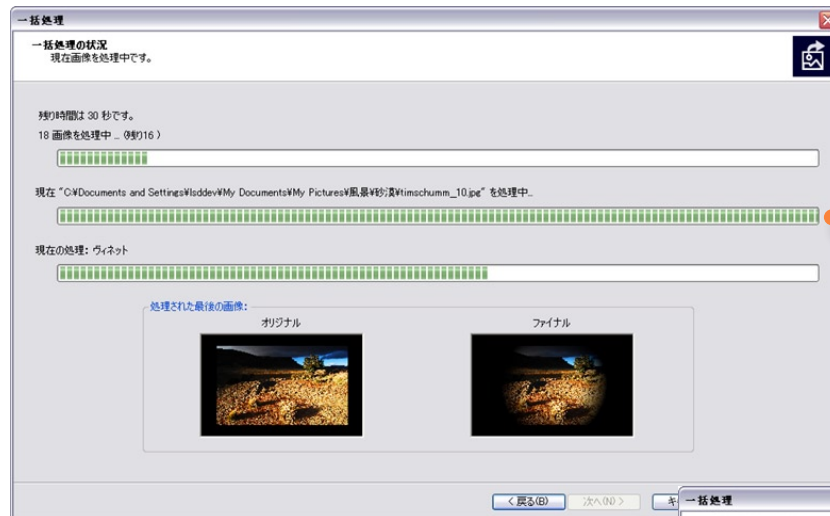
### 3 画像のサイズを変更する

### 4 ノイズ除去と シャープネス

### 5 その他の操作を使用する

### 6 出力オプションを選択する

### 7 まとめ



各画像の処理と操作状況が、進行状況バーに表示されます。編集している画像の数、そして各画像に適用している操作の数によって、しばらく時間がかかる可能性があります。

処理が完了したら [プリセットの保存] ボタンをクリックして、操作オプションを保存します。プリセットはサイズ変更やノイズ除去のように、頻繁に使用される編集操作の作業時間を大幅に短縮します。

[完了] をクリックして [一括処理] を終了し、編集済みの画像を参照します。



# ACDSee Pro 2チュートリアル：一括処理を使用する

## 1 一括処理とは?

素早く、簡単に、効果的な編集が数分で完了します!

回転、トリミング、カラーキャスト、露出、ヴィネットなど、[一括処理]に含まれているその他のオプションもお試しく下さい。

## 2 著作権情報を挿入する

このチャプターでは、次のようなポイントについて触れました:

## 3 画像のサイズを変更する

» [一括処理]を使用して、複数のファイルに複数の編集操作、あるいは1つのファイルに複数の編集操作を適用することができます。

## 4 ノイズ除去とシャープネス

» 13の異なる操作があり、各操作には細かい設定オプションが含まれています。各操作の名前をクリックすると、設定オプションが表示されます。

## 5 その他の操作を使用する

» [プレビュー]領域で、各オプションの効果を確認することができます。

## 6 出力オプションを選択する

» 操作済みの画像用に、例えばコピー、移動、名前の変更、または新規フォルダの作成など、いくつかの出力オプションから選択することができます。

## 7 まとめ

» 設定をプリセットとして保存し、次回以降使用することも可能です。